

平成23年度

主要施策の成果説明書

京都府後期高齢者医療広域連合

平成23年度における京都府後期高齢者医療広域連合の主要施策 の成果報告について

平成23年度京都府後期高齢者医療広域連合の主要施策について、報告いたします。

総 括

京都府後期高齢者医療広域連合（以下「広域連合」という。）は、75歳以上の方及び一定の障害があると認定を受けた65歳以上75歳未満の方を対象とした後期高齢者医療制度の運営を行うため、府内全ての市町村で構成する特別地方公共団体として、平成19年2月1日に京都府知事の許可を受け設立されました。

後期高齢者医療制度施行4年目となる平成23年度は、昨年度と同様に市町村をはじめとする各種関係団体等と協力し本制度の推進を図りながら、広域連合議会において制度運営についてご審議をいただいた他、本制度の周知広報、給付等に係る事務を遅滞なく的確に処理するための電算処理システムの改修、後期高齢者健康づくり推進事業の実施、人間ドック等長寿健康増進事業実施市町村への補助等を行いました。また、後期高齢者医療特別会計では、被保険者からの保険料、府内26市町村及び国、府からの負担金、若年層からの支援金等を財源に保険給付を実施しました。

一般会計

広域連合の平成23年度一般会計歳入歳出予算の最終補正後における予算総額は28億1,542万1千円でした。

歳入決算額は27億9,858万5,431円で予算に対し、99.4%、歳出決算額は27億7,608万3,819円で予算に対し、98.6%の執行となり歳入歳出の差引額は2,250万1,612円となりました。

この差引額のうち、1,200万円は財政調整基金に編入し、残額の1,050万1,612円は繰越金として平成24年度に繰り越します。

歳入

一般会計の歳入につきましては、広域連合を構成する市町村からの分賦金、国庫補助金（特別調整交付金、高齢者医療制度円滑導入臨時特例交付金等）、京都府補助金等で賄われており、分担金及び負担金（市町村からの分賦金）が6億6,443万1,011円、国庫支出金が18億7,010万3,133円、府支出金が1億1,828万5,825円、財産収入が63万8,087円、基金繰入金（財政調整基金及び後期高齢者医療制度臨時特例基金からの繰入金）が9,777万2,334円、繰越金が4,145万9,554円、諸収入が589万5,487円となっております。

（一般会計歳入）

（単位：円、%）

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	構成比
分担金及び負担金	664,431,000	664,431,011	664,431,011	100.0	23.7
国庫支出金	1,881,001,000	1,870,103,133	1,870,103,133	99.4	66.8
府支出金	124,269,000	118,285,825	118,285,825	95.2	4.2
財産収入	639,000	638,087	638,087	99.9	0.0
繰入金	97,720,000	97,772,334	97,772,334	100.1	3.5
繰越金	41,459,000	41,459,554	41,459,554	100.0	1.5
諸収入	5,902,000	5,895,487	5,895,487	99.9	0.2
合 計	2,815,421,000	2,798,585,431	2,798,585,431	99.4	100.0

歳 出

一般会計の歳出につきましては、議会費は、広域連合議員の報酬、費用弁償、議事録作成等の経費で98万9,211円の支出となっております。

総務費は、25億9,539万9,521円の支出となっております。項としまして総務管理費、選挙費、監査委員費を設定しており、総務管理費は、一般事務、電算処理システム運用業務、後期高齢者医療制度臨時特例基金積立金等に関する経費で25億9,529万7,657円の支出となっております。選挙費は、選挙管理委員の報酬、費用弁償の経費で3万2,440円の支出、監査委員費は、監査委員の報酬、費用弁償の経費で6万9,424円の支出となっております。

民生費は、後期高齢者医療特別会計へ繰り出す保険料不均一賦課の経費で1億7,969万5,087円の支出となっております。

(一般会計歳出)

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率	構成比
議会費	1,429,000	989,211	439,789	69.2	0.0
総務費	2,615,339,000	2,595,399,521	19,939,479	99.2	93.5
民生費	191,653,000	179,695,087	11,957,913	93.8	6.5
予備費	7,000,000	0	7,000,000	0.0	0.0
合 計	2,815,421,000	2,776,083,819	39,337,181	98.6	100.0

一般会計の歳出を性質別に見てみますと、人件費（議員及び正副広域連合長等の報酬・給与等）・補助費等（広域連合に派遣された職員の給与負担金、市町村への補助金、拠出金等）が3億778万8千円で構成比11.1%、物件費（京都府国民健康保険団体連合会への資格確認事務等委託経費、電算処理システムの運用業務経費、事務消耗品費等）が6億700万4千円で構成比21.8%、積立金（後期高齢者医療制度臨時特例基金及び財政調整基金への積立金）16億8,159万7千円で構成比60.6%、繰出金（後期高齢者医療特別会計に繰り出す保険料不均一賦課繰出金）が1億7,969万5千円で6.5%となっております。

自主財源と依存財源の構成

（単位：円、％）

区分	年度	平成23年度		平成22年度		増減額	対前年比
		決算額	構成比	決算額	構成比		
自主財源	分担金及び負担金	664,431,011	23.7	719,958,000	26.2	△55,526,989	92.3
	財産収入	638,087	0.0	755,006	0.0	△116,919	84.5
	繰入金	97,772,334	3.5	99,247,342	3.6	△1,475,008	98.5
	繰越金	41,459,554	1.5	69,886,423	2.5	△28,426,869	59.3
	諸収入	5,895,487	0.2	1,543,854	0.1	4,351,633	381.9
	計	810,196,473	29.0	891,390,625	32.4	△81,194,152	90.9
依存財源	国庫支出金	1,870,103,133	66.8	1,751,876,277	63.7	118,226,856	106.7
	府支出金	118,285,825	4.2	107,926,069	3.9	10,359,756	109.6
	計	1,988,388,958	71.0	1,859,802,346	67.6	128,586,612	106.9
合計		2,798,585,431	100.0	2,751,192,971	100.0	47,392,460	101.7

後期高齢者医療特別会計

平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出予算の最終補正後における予算総額は2,773億8,825万6千円でした。

歳入決算額は2,797億4,863万482円で予算に対し、100.9%、歳出決算額は2,747億8,975万9,591円で予算に対し、99.1%の執行となり、歳入歳出の差引額は49億5,887万891円となりました。

この差引額は繰越金として平成24年度に繰り越します。

歳入

後期高齢者医療特別会計の歳入につきましては、市町村からの保険料等負担金、国の療養給付費負担金、財政調整交付金、府の療養給付費負担金、社会保険診療報酬支払基金の後期高齢者交付金等で賄われており、市町村支出金が467億8,212万7,554円、国庫支出金が857億4,128万6,783円、府支出金が232億8,215万3,838円、支払基金交付金が1,160億9,933万3千円、特別高額医療費共同事業費交付金8,681万2,868円、繰入金17億4,318万6,623円、繰越金57億8,714万3,304円、諸収入2億2,658万6,512円となっております。

(後期高齢者医療特別会計歳入)

(単位：円、%)

区 分	予算現額	調定額	収入済額	収入率	構成比
市町村支出金	47,023,179,000	46,782,127,554	46,782,127,554	99.5	16.7
国庫支出金	83,969,785,000	85,741,286,783	85,741,286,783	102.1	30.6
府支出金	22,581,322,000	23,282,153,838	23,282,153,838	103.1	8.3
支払基金交付金	118,286,325,000	116,099,333,000	116,099,333,000	98.2	41.5
特別高額医療費共同事業交付金	100,000,000	86,812,868	86,812,868	86.8	0.0
繰入金	1,795,167,000	1,743,186,623	1,743,186,623	97.1	0.6
繰越金	3,614,117,000	5,787,143,304	5,787,143,304	160.1	2.1
諸収入	18,361,000	226,586,512	226,586,512	1234.1	0.1
合 計	277,388,256,000	279,748,630,482	279,748,630,482	100.9	100.0

歳 出

後期高齢者医療特別会計の歳出につきましては、保険給付費は、2,721億3,496万2,903円の支出となっております。項としまして、療養諸費、高額療養諸費、その他医療給付費を設定しており、療養諸費は療養給付費、訪問看護療養費、移送費、審査支払手数料の経費で2,592億1,231万2,781円の支出となっております。高額療養諸費は、高額療養費の経費で120億5,205万122円の支出、その他医療給付費は、葬祭費の経費で8億7,060万円の支出となっております。

府財政安定化基金拠出金は、1億5,913万5千円の支出、特別高額医療費共同事業拠出金は事業費拠出金、事務費拠出金を合わせて9,808万719円の支出となっております。

保健事業費は、市町村が行った健康診査の経費を補助するもので、2億3,513万3千円の支出、諸支出金は、国・府支出金等の返還金等を支出するもので、21億6,244万7,969円の支出となっております。

(後期高齢者医療特別会計歳出)

(単位：円、%)

区 分	予算現額	支出済額	不用額	執行率	構成比
保険給付費	274,711,134,000	272,134,962,903	2,576,171,097	99.1	99.0
府財政安定化基金拠出金	159,916,000	159,135,000	781,000	99.5	0.1
特別高額医療費共同事業拠出金	106,000,000	98,080,719	7,919,281	92.5	0.0
保健事業費	235,133,000	235,133,000	0	100.0	0.1
公債費	1,000,000	0	1,000,000	—	—
諸支出金	2,174,073,000	2,162,447,969	11,625,031	99.5	0.8
予備費	1,000,000	0	1,000,000	—	—
合 計	277,388,256,000	274,789,759,591	2,598,496,409	99.1	100.0